

# 平成20年3月期 決算説明会資料

---

曾田香料株式会社

代表取締役社長 光安哲夫

# 目次

---

- I. 会社概要
- II. 平成20年3月期 決算概要(連結)
- III. 平成21年3月期 業績予想(連結)
- IV. 中期経営課題(平成18～20年度)について

# I . 会社概要

# 会社概要

- 1) 設 立 昭和47年9月(創業 大正4年4月)
- 2) 資 本 金 14億9千万円
- 3) 事 業 所 本社(東京都中央区日本橋小伝馬町)  
野田工場(千葉県野田市)、郡山工場(福島県郡山市)  
大阪支店、札幌営業所
- 4) 関係会社  
連 結 子 会 社 岡山化学工業(株)、(株)ソダアクト  
持分法適用関連会社 台湾曾田香料(股)、遠東香料(股)  
非 連 結 子 会 社 曾田香料(昆山)有限公司
- 5) 従業員数(H20年3月末有価証券報告書基準)  
連 結 343名  
単 体 282名

## 6) 事業内容

### フレグランス（香粧品香料）

シャンプー・リンス、石鹸、芳香剤、入浴剤等に使用



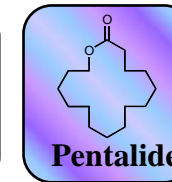
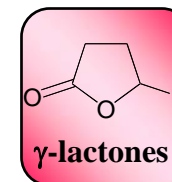
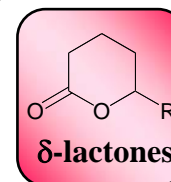
### フレーバー（食品香料）

飲料、菓子、調味、たばこ、飼料等に使用



### 合成香料・ケミカル

- ・ラクトン類、大環状ムスク等のフレグランス・フレーバー素材
- ・ガス着臭剤（都市ガス・LPG用）
- ・化成品（医薬・農薬中間体、電子材料等）



## Ⅱ. 平成20年3月期 決算概要(連結)

# 連結P/Lの概要

億円

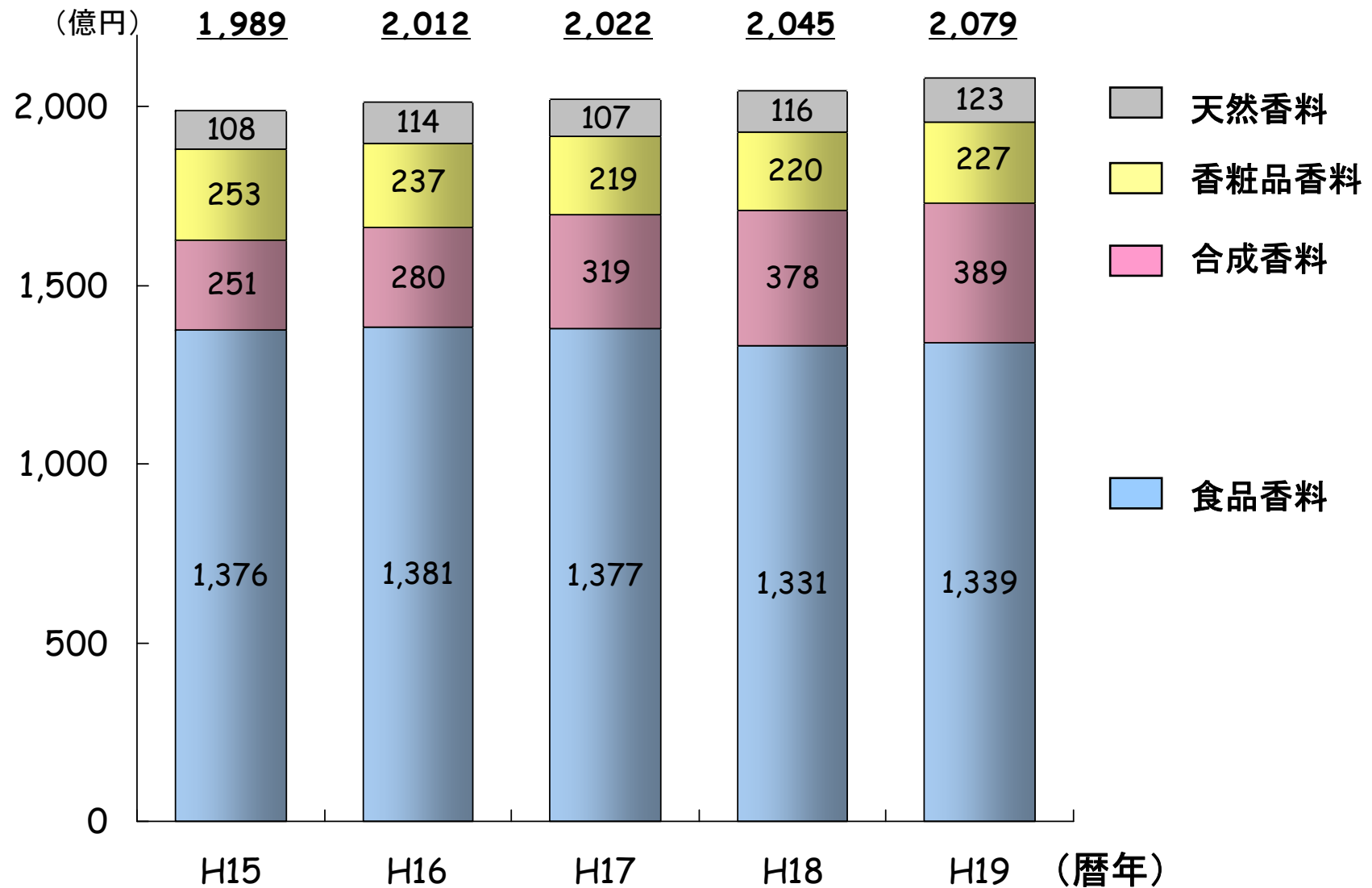
	前期		当期		増減	
	H19/3	構成比(%)	H20/3	構成比(%)	金額	率
売上高	181.8	100.0	187.1	100.0	+ 5.3	+2.9%
(製品売上高)	124.9	68.7	144.7	77.3	+ 19.8	+15.8%
売上原価	126.2	69.4	125.6	67.1	▲ 0.6	▲0.5%
販管費	37.0	20.3	37.6	20.1	+ 0.6	+1.6%
営業利益	18.5	10.2	23.9	12.8	+ 5.4	+29.2%
経常利益	18.9	10.4	24.2	12.9	+ 5.3	+27.9%
当期純利益	12.1	6.6	15.0	8.0	+ 2.9	+24.1%

## ポイント

- ◎製品売上高は各部門とも順調に伸び、前期比15.8%増
- ◎営業利益は前期比29.2%増

## 国内香料市場推移(製品販売金額ベース)

(日本香料工業会 販売統計より)





## 部門別概況(1)

### フレグランス

国内向けでは主力のシャンプー・リンス等の頭髪用化粧品香料が伸長し、アジア向けの製品輸出も伸び、全体で増収。

億円

	前 期 H19/3	当 期 H20/3	増 減	
			金 額	率
製品売上高	12.8	14.4	+1.6	+12.9%
商品売上高	3.9	3.9	0	0%
部 門 計	16.7	18.3	+1.6	+9.6%

【国内香料業界の製品の前年比伸長率／H19年(暦年)販売金額ベース】

国内平均

フレグランス + 2.9%

## 部門別概況(2)

### フレーバー

食品香料のうち製品は、紅茶や果実等の飲料用が伸び増収。  
商品販売を選別したことから、全体では減収。

億円

	前 期 H19/3	当 期 H20/3	増 減	
			金 額	率
製品売上高	47.7	50.5	+2.8	+5.9%
商品売上高	38.0	26.2	▲11.8	▲30.9%
部 門 計	85.7	76.7	▲9.0	▲10.4%

【国内香料業界の製品の前年比伸長率／H19年(暦年)販売金額ベース】

国内平均

フレーバー + 0.6%

## 部門別概況(3)

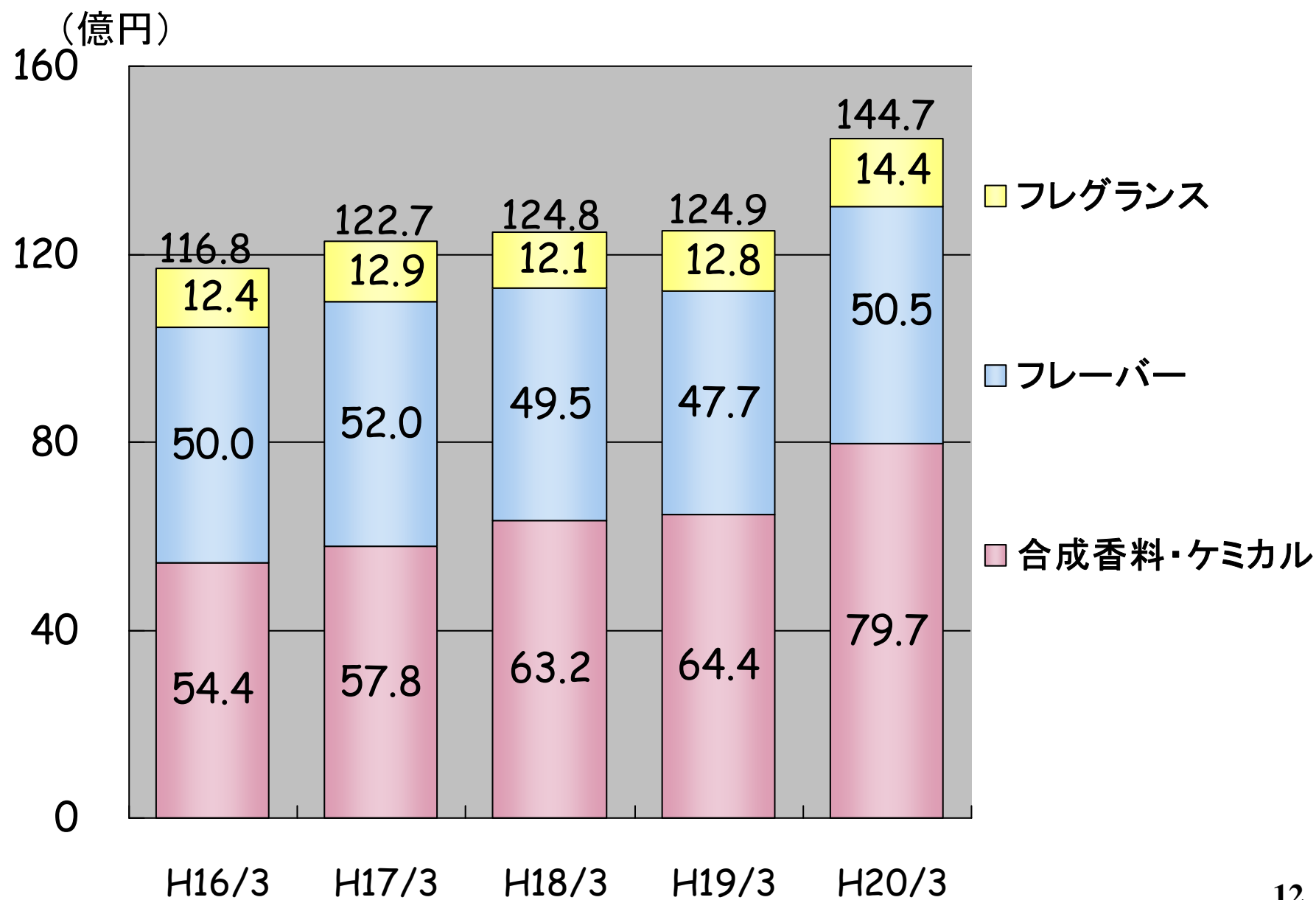
### 合成香料・ケミカル

合成香料が海外向けを中心に順調に伸び、  
ケミカルも電子材料が拡大し、全体で増収。

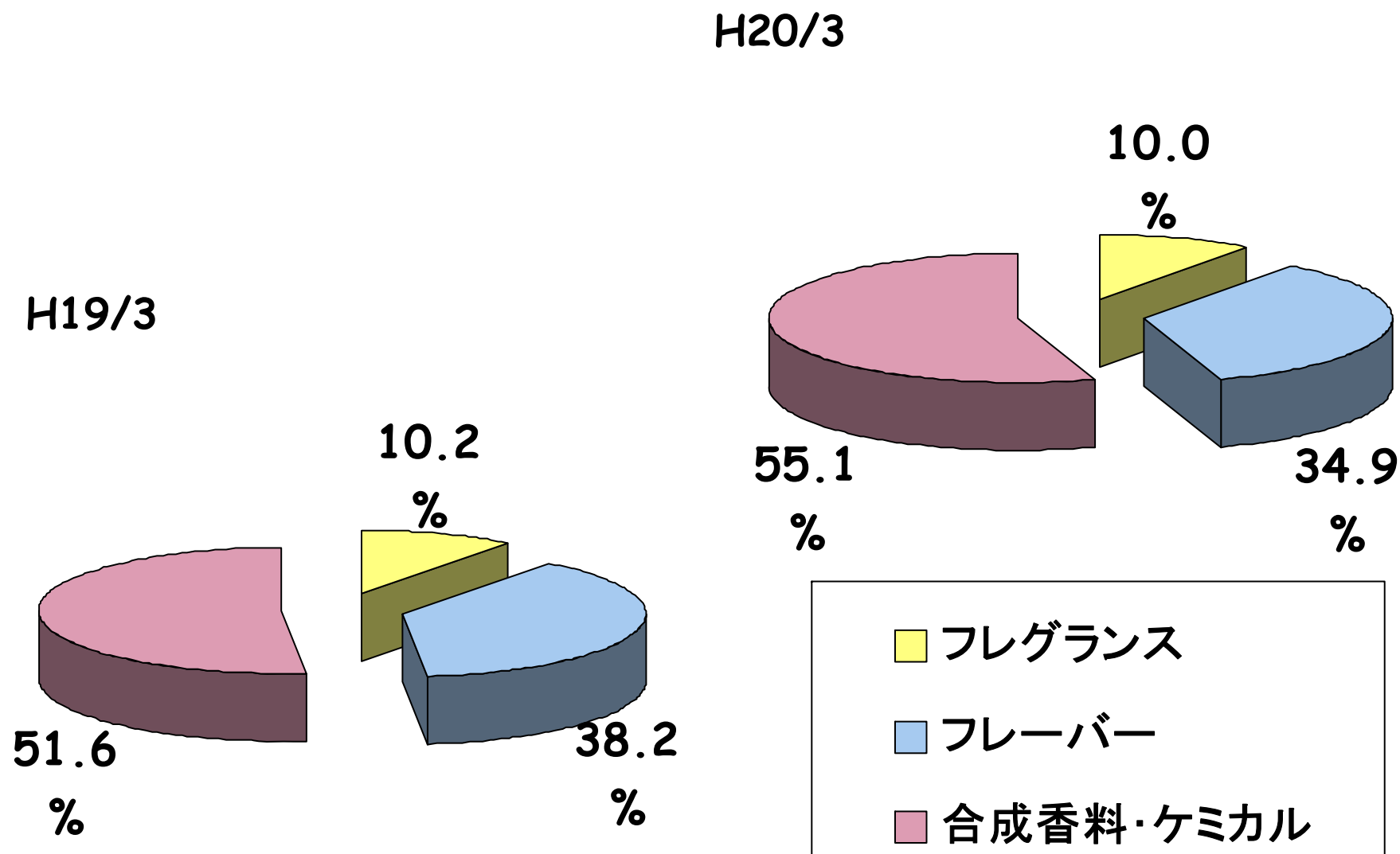
億円

	前 期	当 期	増	減
	H19/3	H20/3	金 額	率
製品売上高	64.4	79.7	+15.3	+23.7%
商品売上高	15.0	12.3	▲2.7	▲18.0%
部 門 計	79.4	92.0	+12.6	+15.9%

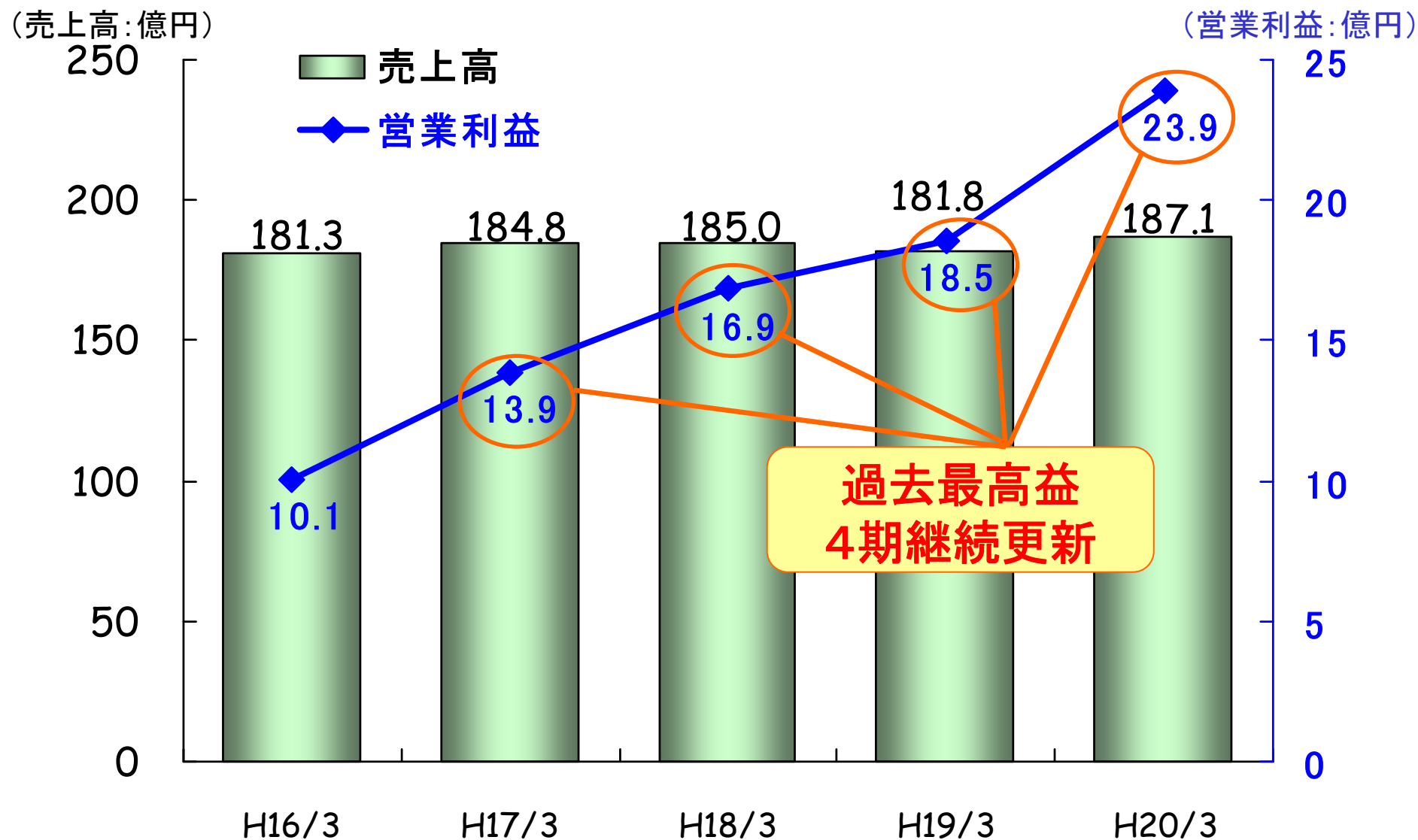
# 部門別売上高推移(製品)



# 部門別構成比率(製品)



# 売上高・営業利益推移



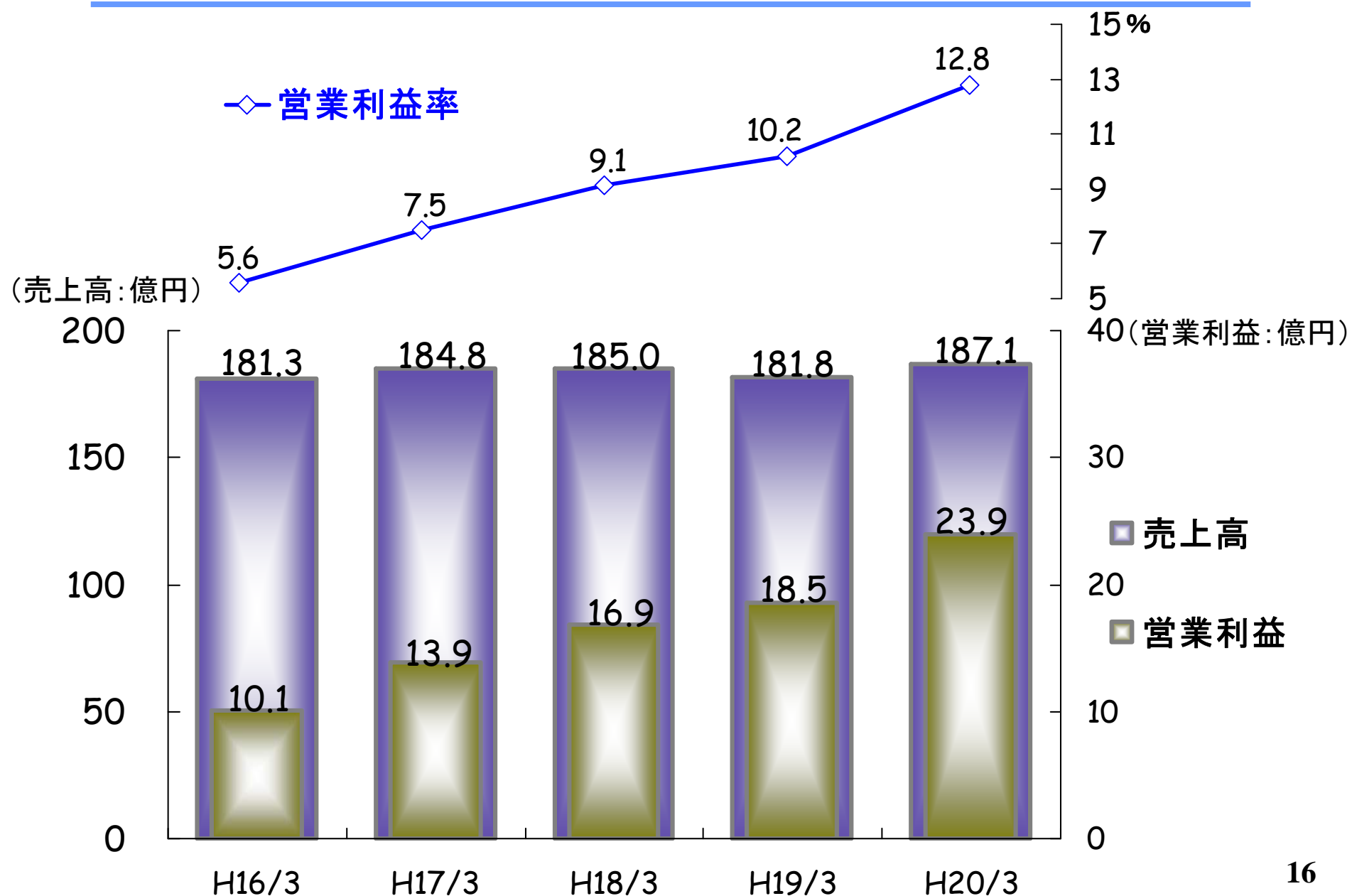
## 営業利益の主な増益要因

H19／3	H20／3	増加額
18.5億円	23.9億円	5.4億円



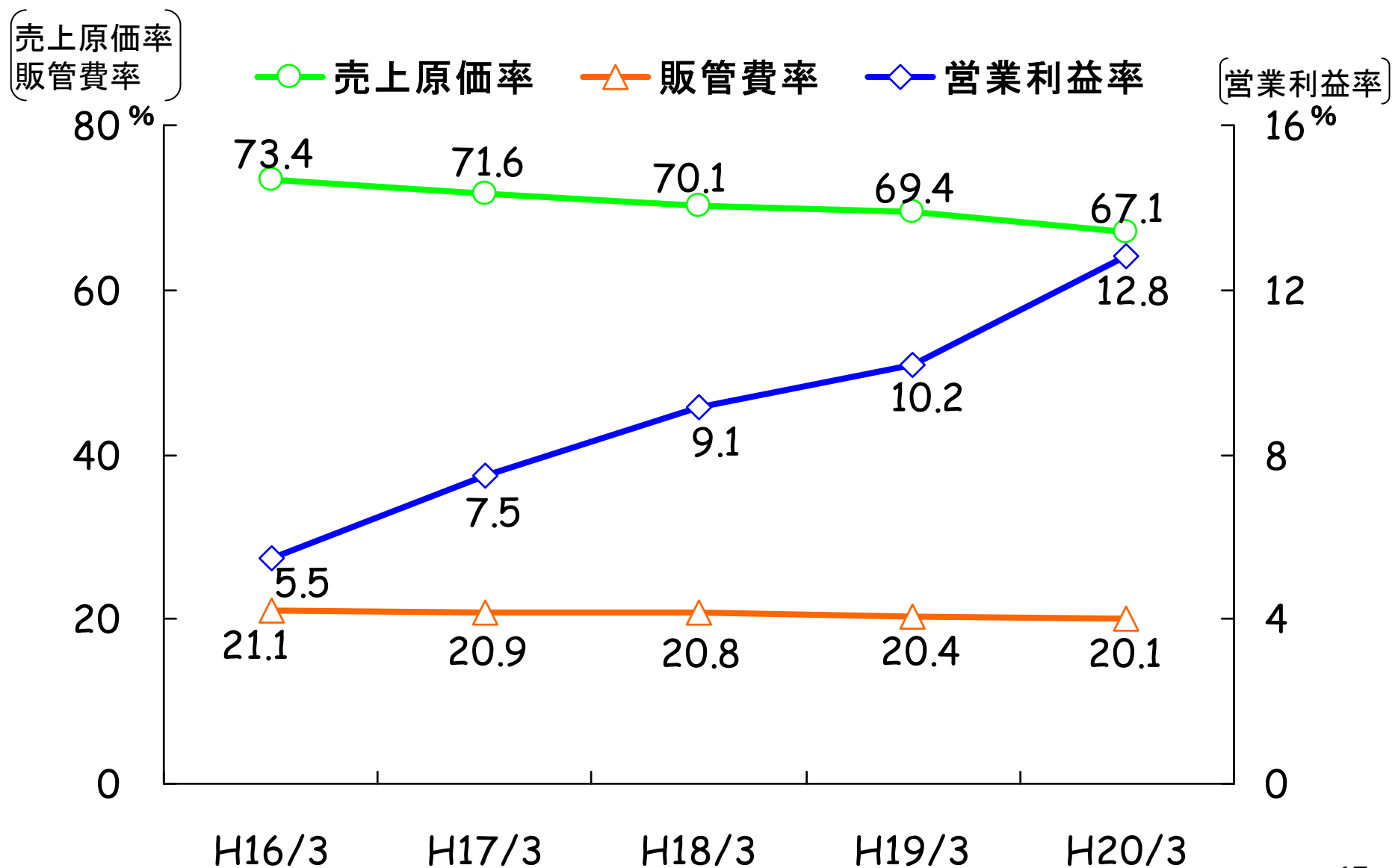
付加価値の高い自社製品の拡販による収益改善

# 売上高・営業利益・営業利益率の推移





# 売上原価率・販管費率・営業利益率の推移



# 連結B/Sの概要

億円

	H19/3	H20/3	増 減
総 資 産	179.6	181.5	+1.9 (+1.1%)
純 資 産	93.1	106.4	+13.3 (+14.3%)
自己資本比率	51.8%	58.6%	+6.8 ポイント
1 株 当 た り 純 資 産	931.01円	1,064.49円	+133.48円 (+14.3%)

## ポイント

◎財務内容、財務比率の向上

➡ 自己資本比率も順調に向上

# ①資産の部

億円

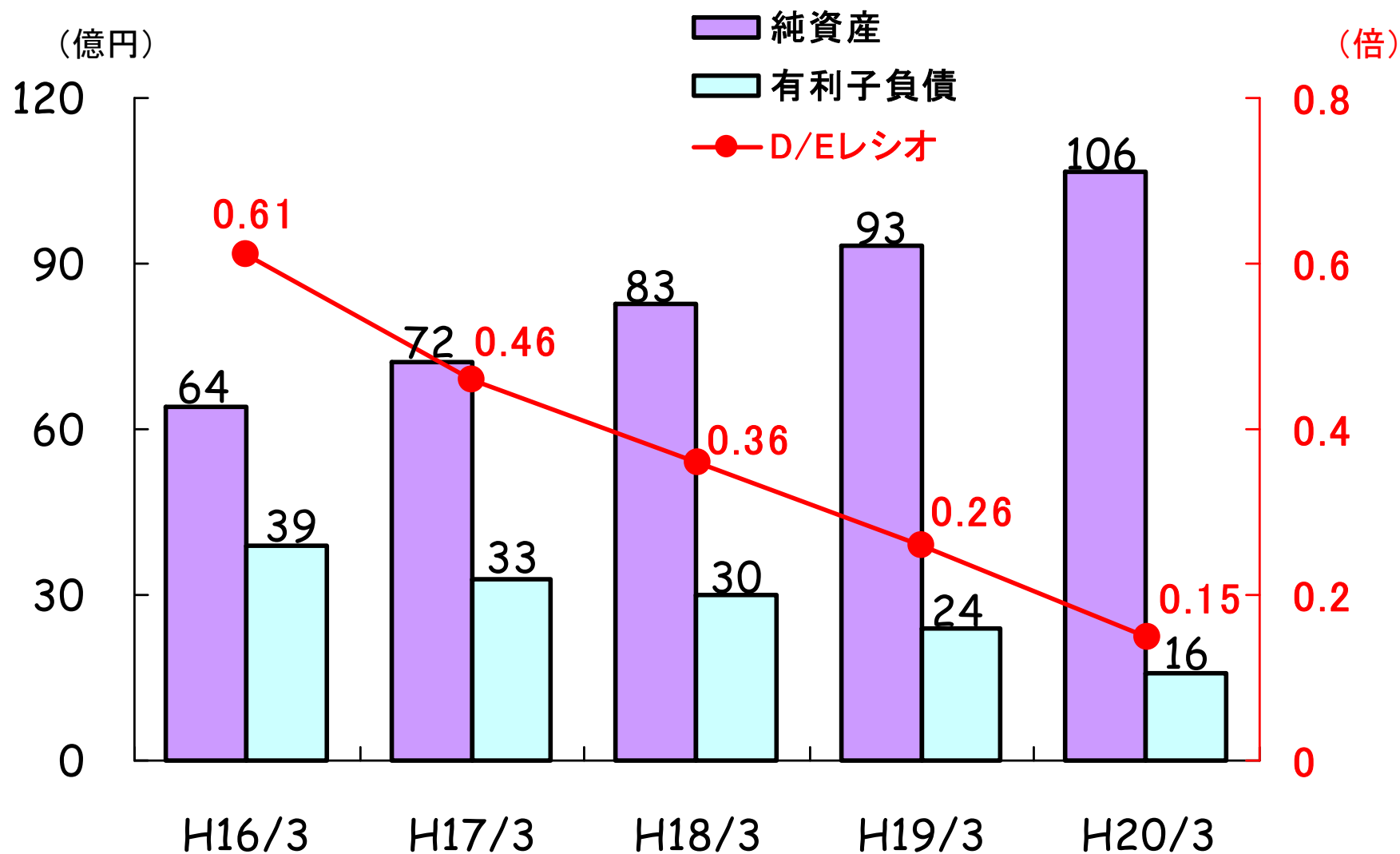
	H19/3	H20/3	増 減	特記事項
資 産 合 計	179.6	181.5	+ 1.9	
流動資産	111.1	115.6	+ 4.5	現預金の増加
有形固定資産	48.6	48.6	+ 0.0	
無形固定資産	0.8	0.4	▲ 0.4	ソフトウェアの償却
投資その他	19.0	16.9	▲ 2.1	投資有価証券の売却

## ②負債・純資産の部

億円

	H19/3	H20/3	増 減	特記事項
負 債 合 計	86.5	75.1	▲ 11.4	
流 動 負 債	59.2	54.6	▲ 4.6	仕入債務・短期借入金の減少
固 定 負 債	27.3	20.5	▲ 6.8	長期借入金の減少
純 資 産 合 計	93.1	106.4	+ 13.3	利益剰余金の増加
(うち利益剰余金)	(61.7)	(75.5)	(+13.8)	
有利子負債残高	24.0	16.0	▲ 8.0	好調な営業キャッシュフローにより有利子負債を圧縮
D/Eレシオ(倍)	0.26	0.15	▲ 0.11	

# 純資産・有利子負債とD/Eレシオ



# キャッシュ・フローの概要

億円

	H19/3	H20/3	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	19.0	19.9	+ 0.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 8.7	▲ 5.1	+ 3.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 7.3	▲ 9.2	▲ 1.9
現金及び現金同等物の増加額	3.0	5.6	+ 2.6
現金及び現金同等物当期末残高	23.9	29.5	+ 5.6

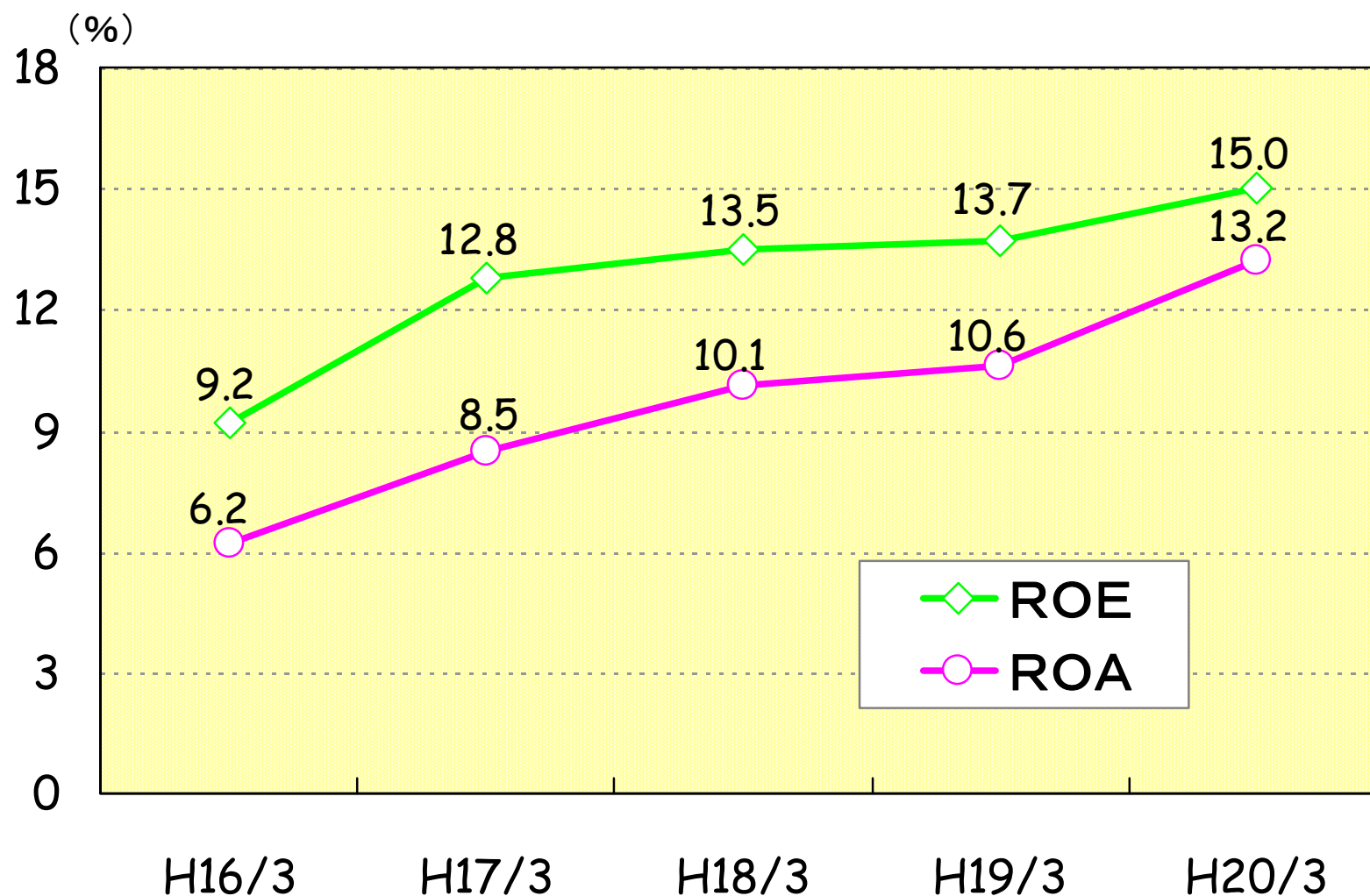
	H18/3	H19/3	H20/3
自 己 資 本 比 率	49.0%	51.8%	58.6%
時価ベースの自己資本比率	68.0%	57.3%	49.7%
C F 対 有 利 子 負 債 比 率 ( 年 )	2.0	1.3	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ ( 倍 )	59.6	124.9	112.5

## ポイント

◎自己資本比率は每期継続して増加

◎営業キャッシュ・フロー対有利子負債比率も順調に低下

# ROE・ROAの推移



\* ROE: 自己資本当期純利益率    ROA: 総資産営業利益率

# 設備投資・減価償却費・試験研究費

億円

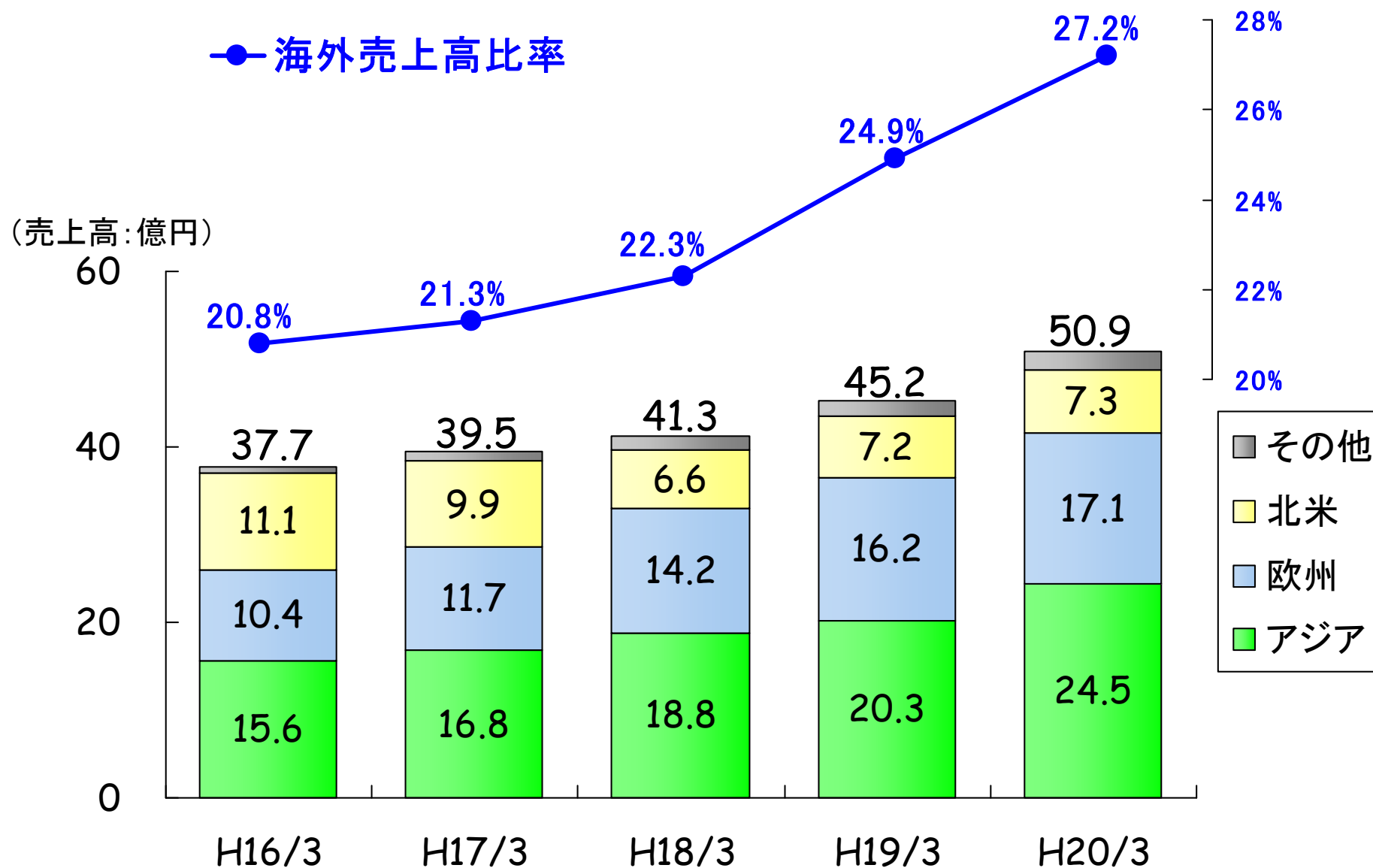
	H19/3	H20/3	増減
設備投資	8.2	6.8	▲1.4
減価償却費	6.8	7.3	+ 0.5
試験研究費	9.9	9.7	▲ 0.2

※主な設備投資

ケミカル製品製造設備の増能力 3.3億円

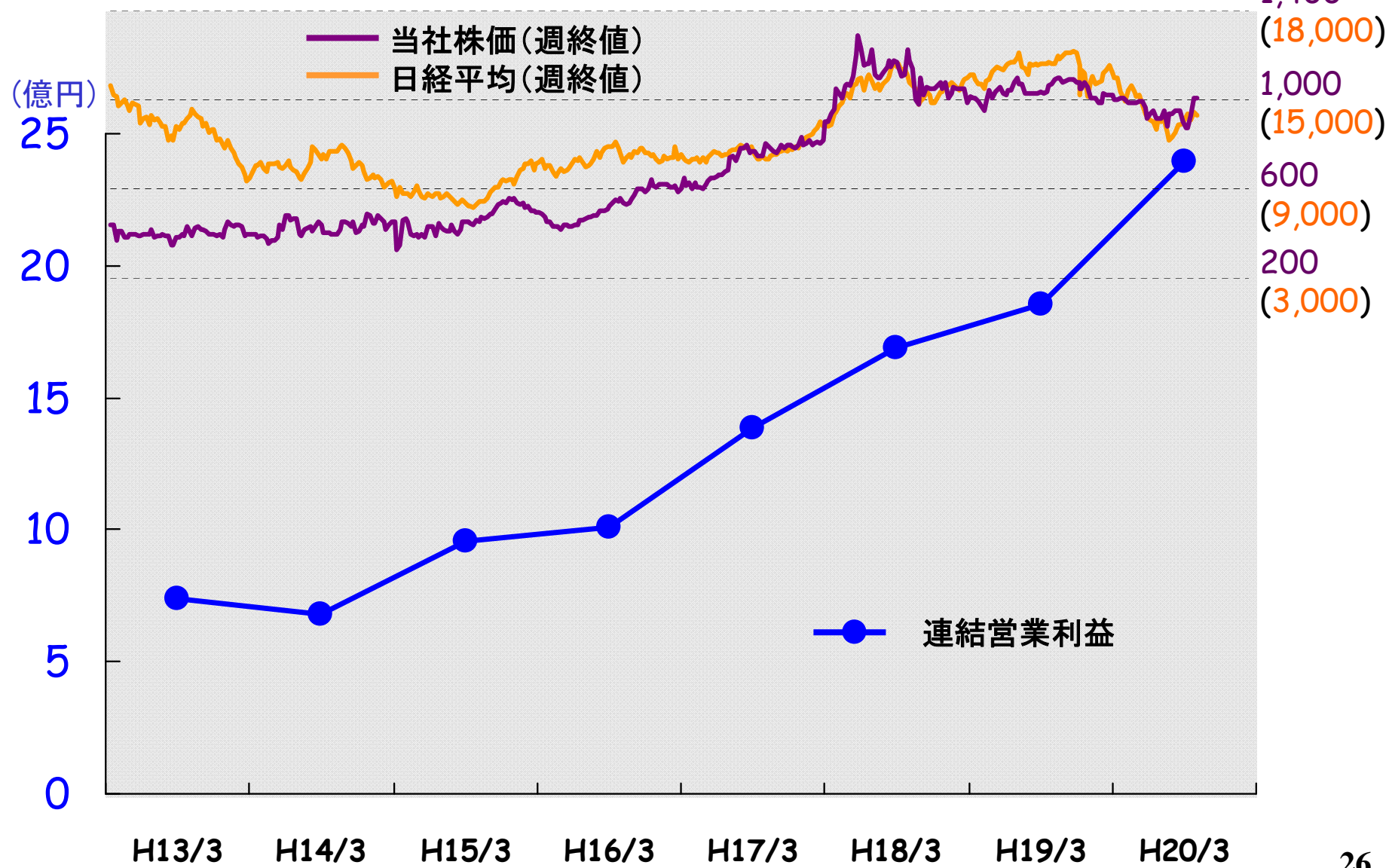


# 海外売上高の伸長



# 連結営業利益と株価推移

〔 当社株価 単位:円 〕  
〔 (日経平均 単位:円) 〕



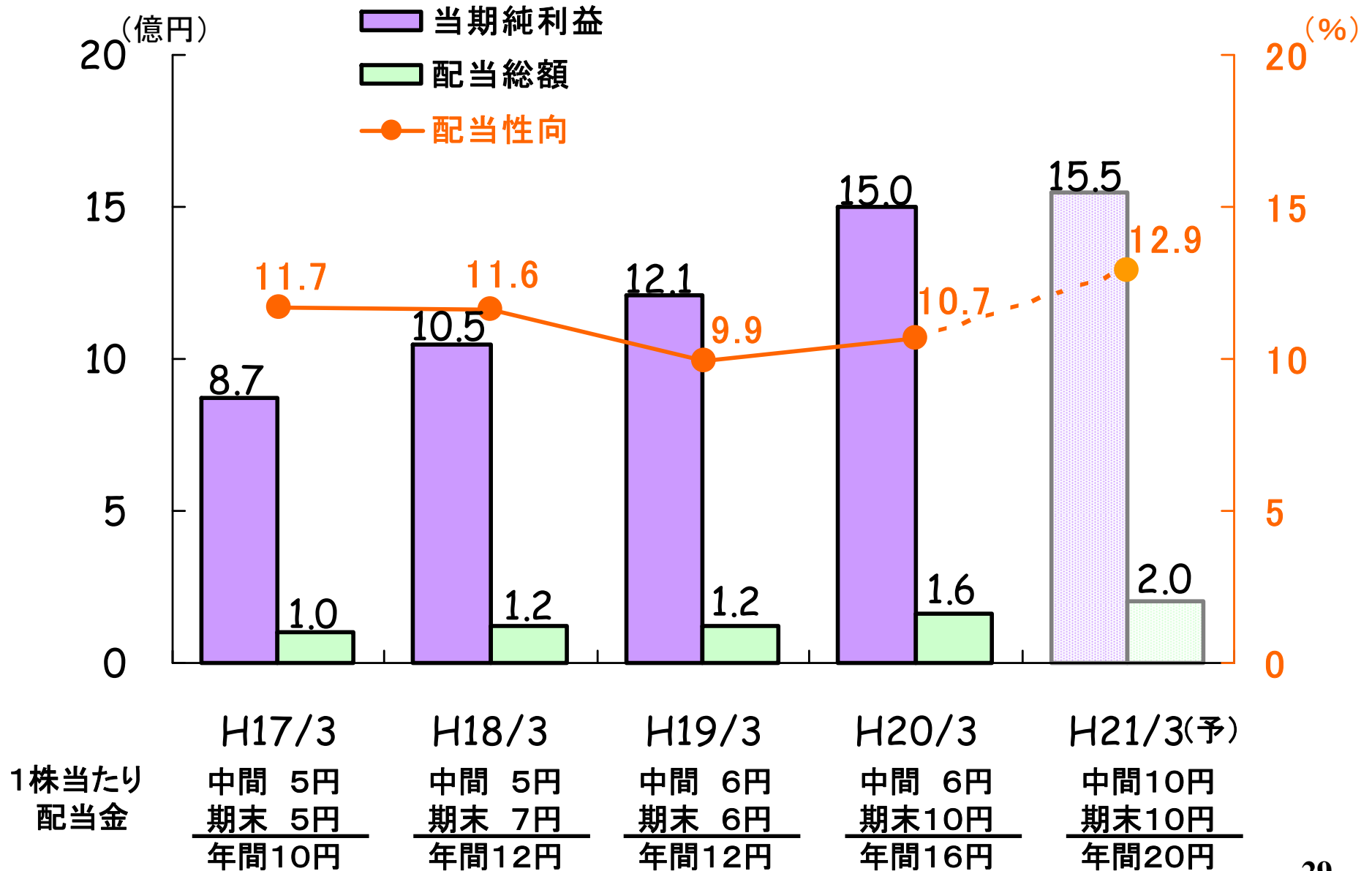
## Ⅲ. 平成21年3月期 業績予想

# 平成21年3月期 業績予想

億円

	H20/3	H21/3 (予想)	増加率
連結 売上高	187.1	202.0	8.0%
営業利益	23.9	25.0	4.5%
経常利益	24.2	25.1	3.7%
当期純利益	15.0	15.5	3.5%

# 純利益・配当総額と配当性向の推移



## IV. 中期経営課題(平成18～20年度)に ついて

## 中期経営課題(平成18-20年度)

---

### 1) 全社方針

「安全・衛生・防災・環境保全」並びに「企業倫理・法令遵守」及び「製品の安全性・品質の確保」の徹底実行によるCSRの推進を企業経営の最優先課題として取り組む

### 2) 中期目標:

ユニークで存在感のある香料会社として  
新たなステージへ飛躍

### 3) スローガン: 「Innovation by Aroma」

## 数値目標(平成20年度)

	実績 (19年度)	中経目標 (20年度)
営業利益	23.9億円	20億円以上
売上高営業利益率	12.8%	10%以上を維持
ROE	15.0%	11%以上を維持
ROA	13.3%	11%以上
D/Eレシオ	0.15倍	0.4倍以内を維持

\* ROE: 自己資本当期純利益率    ROA: 総資産営業利益率



# 事業環境



## 市場

・ユーザーの最終製品市場は成熟化

・少子高齢化の進行で、トータル需要は減少傾向

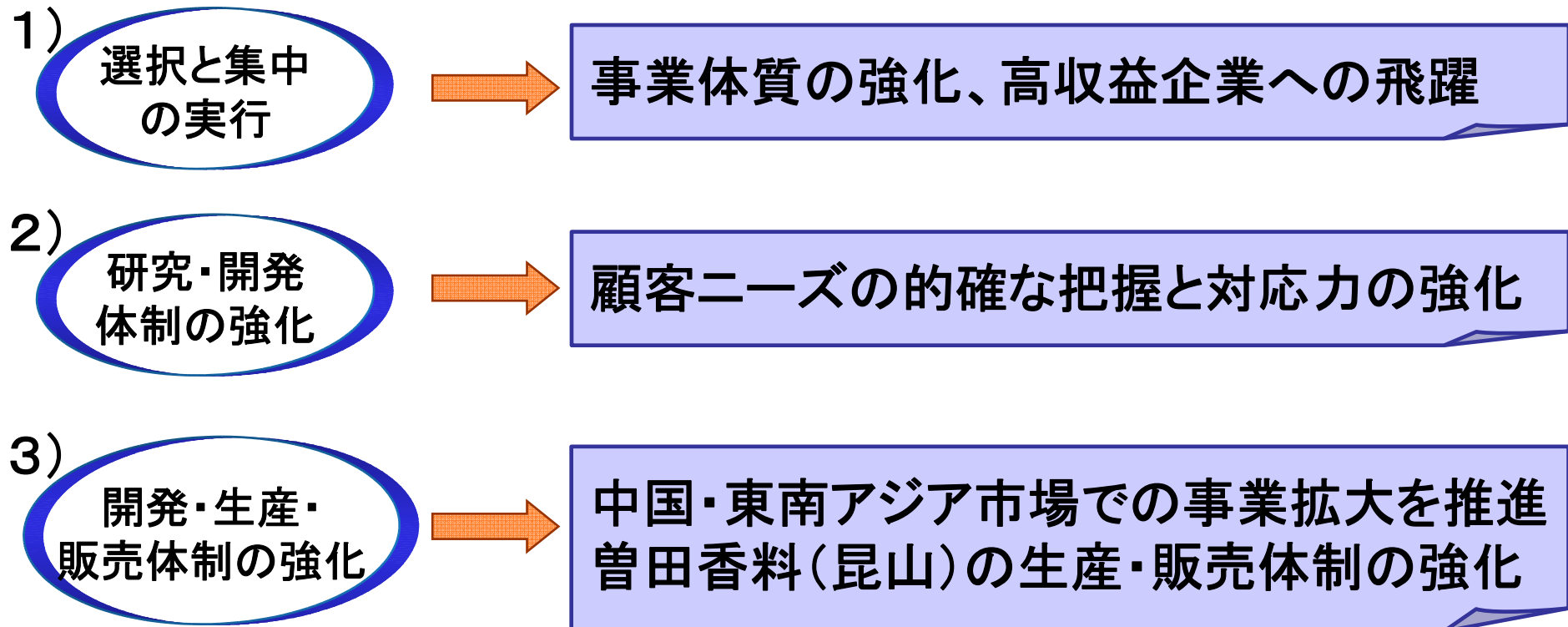
・高機能・高品質製品への顧客ニーズのシフト

・食の安全・安心、健康志向の高まり

# 1. 事業構造の革新

## 基本戦略

- ① 国内市場でのシェアアップと自社製品売上比率の向上
- ② 海外市場での事業拡大を加速



# 部門別課題

## フレグランス

- 顧客ニーズに対応した高機能・高品質製品の開発
- 国内外のターゲットを絞り込み、製品売上を拡大

## フレーバー

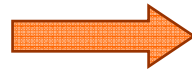
- 品質管理、トレーサビリティ体制の強化
- 重点ユーザーの開発コンセプトを的確に把握
- 既存フレーバーの拡販、新規調合香料の開発と上市

## 合成香料・ ケミカル

- 合成香料のコスト競争力強化と拡販
- 着臭剤・電子材料の拡販

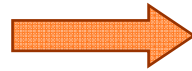
## 2. 事業基盤の更なる強化

1) 比例費削減



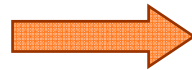
- ・生産工程ごとのコスト分析の徹底による削減
- ・購入原材料のコスト構成分析による仕入価格の上昇抑制と低減

2) 労務費の適正化



- ・各事業での要員規模、年齢分布の適正化

3) 資本の効率化



- ・有利子負債削減
- ・効率的な設備投資
- ・在庫管理強化

4) 人材の育成



- ・社員の意識改革、組織の活性化
- ・第一線営業マンの営業力強化
- ・創造力溢れる組織風土の醸成

これら課題・施策の確実な実施により

**ユニークで存在感のある香料会社として  
新たなステージへ飛躍**

本資料中の平成21年3月期業績予想、見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

曾田香料株式会社

財務部

TEL : 03-5645-7340 (代)

FAX : 03-3668-6289 (代)